

# 8月の野菜の見通し

平成30年7月31現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	9,414	少ない	9,229	118	143%	103	1	0.01%	6月上旬の低温・長雨の影響で8月上・中旬は抽台が懸念される。また、7月上旬の長雨の影響で播種ができず、8月下旬も減少が予想されるため、8月総体の数量は前年よりやや少ないだろう。 見通し単価は前年比で大幅に高く、平年よりやや高い。
キャベツ	16,393	並	15,487	82	104%	80	-	-	高温・干ばつの影響でさほど出荷量は増えてこない。相場は大きな山谷なく推移する予想。 見通し単価は前年・平年並み。
ねぎ	3,894	少ない	4,121	346	95%	312	149	3.8%	東北各地で出荷始まるも、それまでの6月までの干ばつの影響から2Lなど太物の出荷が少ない予想。荷動きは学校給食もなく鈍めの展開となろうが、盆明けは出荷が極端に減るため、相場高まる見込み。 見通し単価は前年より若干安く、平年比では若干高い。
きゅうり	7,691	並	8,011	306	98%	292	447	5.8%	7月中旬は東北産の早期定植の切り上がりで数量少なく、相場が上昇したが、7月下旬から8月上旬にかけて露地物の本格出荷となり相場は一気に下がる。8月中・下旬は露地物の減り方次第で相場底上げとなる見込み。 見通し単価は前年並みで平年より若干高い。
なす類	4,547	並	4,350	234	92%	240	-	-	主力の関東産は7月末から8月上旬にかけて出荷量多く、前年より若干増える見込み。相場は下げ基調の予想だが盆明けは数量落ち着いて底上げとなるだろう。 見通し単価は前年よりやや安く、平年比ではやや高い。

# 8月の野菜の見通し

平成30年7月31現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
トマト	8,286	少ない	9,605	332	105%	288	213	2.6%	<p>東北・北海道産は、7月の曇天の影響で10日前後遅れが出ており、8月上旬まで数量は少ない予想。盆明けからは出荷増量となるが下旬になると産地によりそれまでの高温の影響が出て減りこむことも考えられる。</p> <p>見通し単価は前年より若干高く平年比では大幅に高い。</p>

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格の見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)